

## 次へのヒントが見つかるケース会議 ～ポイントが分かる事前視聴用動画～

10分で

島根県教育センター 浜田教育センター 教育相談スタッフ

突然ですが、、、  
学校で行われている  
ケース会議や  
事例検討会を、  
思い浮かべて下さい。

### 学校現場で行われるケース会の現状

あと①①

ケース会議が必要だと分かっているにもかかわらず、担任やコーディネーターが個別に対応していたり、校内で有機的につながっていないなど、ケース会議を開催するまでにすでに負担感があることも……。ケース会議が開きにくい背景として 山形大学の佐藤節子教授は

#### ①時間がない

学校現場の多忙感は年々高まっており、小学校では複数の役を兼務していたり、中学・高校では部活など、人集めや会議の時間設定自体が難しい現状がある。

#### ③原因, 犯人さがしに終わる

事案の中で「何が悪いのか」「原因となっているものは何か」ということを追求することになり、さらに対応すべき問題が増えていくことで終わる。

#### ②様子を見ましょうで終わる

会議の結論が「もう少し様子を見よう」ということで終結し、会議の成果を感じにくい、何が決まるということもなく、情報交換や現状の確認で終わることがある。

#### ④他への要求で終わる

「家庭がこうなるとよい」「本人がこんな風に変わらないと」など、他者や他機関の変化や介入を期待し、会議の参加者が主体的な関わりを見いだせずに終わる。

### 理想のケース会の要件とは？

あと①①

目指すケース会議が必要だと分かっているにもかかわらず、担任などが個別に対応していたり、コーディネーター任せっきり、校内で有機的につながっていないなど、ケース会議を開催するまでにすでに負担感があることも……。ケース会議が開きにくい背景としては

#### ①時間がない

短時間で開催でき  
事前準備が簡便

#### ②様子を見ましょうで終わる

会議後のゴール  
の設定が明確である

#### ③原因, 犯人さがしに終わる

#### ④他への要求で終わる

解決策にフォーカスされていて  
何らかの解決を示される形で終わる

	今までの支援会議	PCAGIP	ブリーフミーティング
<b>準備</b>	会議までに支援シート記入	事前にシートに記入(ない場合もある)	必要なし
<b>時間</b>	1～2時間	40分間～1時間	30分間
<b>事例の報告</b>	長時間を要する	提供者に短く質問しながら引き出す	困っていることを5分間程度で話す
<b>対応策</b>	出てこない／絞り込めない	質問のやりとりの中から自ら探っていく	たくさん出てくる／選べる
<b>ゴール</b>	抽象的で曖昧になりがち	提供者自身が納得するゴールを目指す	具体的である
<b>記録のとり方</b>	個々で資料にメモ	ホワイトボードで共有	ホワイトボードで共有
<b>会議の記録</b>	個々の記録のためバラバラ	写真で撮って同じ記録を共有	写真で撮って同じ記録を共有



・「**解決志向アプローチ**」

の考え方をを使って会議をすること



精神科医 ミルトン・H・エリクソンにより提唱された

①原因を追究しすぎない

原因がわかって解決につながるとは限らない

②解決像に焦点をあてる

一人ひとりに合った解決像をみんなで求めて！その人（提供者）がどうなっていたらよいのかという解決像に！

③うまくいっていないければ方法を変える

解決志向アプローチの3つの中心ルール  
 ルール1 うまくいっているなら変えるな。  
 ルール2 一度やってうまくいったことは、もう一度試せ。  
 ルール3 うまくいっていないのなら、何か違うことをせよ。

④まず、小さな変化を起こそう

小さな変化が大きな変化を生み出す



- ① **① ルールの確認** ファシリテーター
- ② **② 事例の報告(困っていることから)** 事例提供者
- ③ **③ ゴールの仮設定** 事例提供者
- ④ **④ 質問・リソース探し※短い問いで** 事例提供者 参加者
- ⑤ **⑤ ゴールの再設定** 事例提供者
- ⑥ **⑥ 解決のための対応策を考える** 参加者
- ⑦ **⑦ 取り組めそうなことを決定** 事例提供者
- ⑧ **⑧ 記録(写真撮影)** ファシリテーター

探して!リソースの種 大きく育てよう



■ ①自己リソース

<個人が内的にもっているもの>  
性質、能力、興味、関心、嗜好、特技、好物、得意科目など

<外面的なもの> 容姿、器量、身なり、態度、雰囲気、自己表現方法など・好きなこと、得意なこと・やりたいこと、なりたいこと・例外、やれていること・続いて(増えて)ほしいこと

■ ②環境リソース

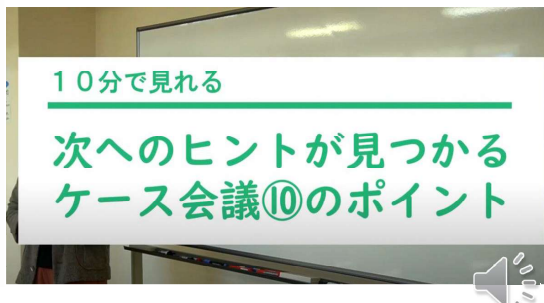
<大事にしているもの> ペット(鳥、ハムスター、昆虫)ぬいぐるみ、手紙 ゲーム等  
<外部に存在するもの> 自然、環境、施設、設備 など

■ ③他者リソース

<私的な関係> 家族、兄弟、親戚、友人、地域の友達  
<主に公的な関係> 教師、医師、心理士、相談員、民生委員・親密性のある人  
積極的にかけられる人…

(森俊夫、黒沢幸子「解決志向ブリーフセラピー」ほんの森出版)

次へのヒントが見つかるケース会議シナリオ		2021年 12月1日版
① ルール の確認	① 何が原因かを探すのではなく、どうやったらうまくいくか! 具体策をみながら探すという解決志向の考え方で参加して下さい。 ② ここまで話したことはここだけの守秘義務だとおぼえてください。 ③ また、質問のやりとりは短い文で、たくさん意見がでるようお願いします。(ルールを提示)	○時0分 を記入
② 終了時 刻報告	「会議の終了時刻は○時○分です。(現在時刻から30-40分後)」	○時○分 を記入
③ 事例 報告	「では、事例について報告をお願いします。一番困っていることから話してください。5分程度で途中になってかまいません。」	○時○分 を記入
④ ゴール 仮設定	「この会議が終わった時に、どんなヒントが見つかったら良いと思いますか? 思っている会議のゴールを教えてください。」	○時○分 を記入
⑤ 短い 質問と リソース 探し	「参加者のみなさんから短い質問をして、短く答えてもらいます。知らないこととは知らないで下さい。【すでにできていること】やお手元のリソース一覧も参考にして【その人が持っている資源】について探せる質問だと、なお良いです。質問が思いつかない人はパスをしてください。」※質問の仕方を2-3回調整しながら ★ 一人の質問者が長く話す時はファシリテーターが大きな声で「ストップ!」と指示の板書を指すなどして強制終了を促す	○時○分 を記入 ※板書の 読み取り 時間
⑥ ゴール 再設定	「みなさんとのやり取りを終えて、今思っているゴールはこのままでよろしいですか? 変更があれば教えてください。」	○時○分 を記入
⑦ 解決の 対応策	「では、次へのヒントにつながる、対応策を思い浮かべた人から「○○する」という肯定的動詞の形でアイデアを出してください。質問者がたくさん出る方がよいです。一見不可能なものはと思えるものでも大歓迎です。また、事例提供者の人は、みなさんからの意見が出されている間は聞いてください。」	○時○分 を記入
⑧ 採択案 による 決定	「みなさんから出された対応策で、できそうかな? と思うものをいくつか選んで下さい。」(赤丸をつける)	○時○分 を記入
⑨ 感想	「では、最後にこの会議でみなさんと一緒にヒントを探した感想をお聞かせ下さい。」 ※時間の余裕があれば、終了時間を改めて参加者から提供者へ一言、感想を添えて下さい。	感想まで の時間



**板書例**

**ルール**

- 解決志向
- 守秘義務
- 短いやりとり

**今日のゴール** 母ともしっかり話ができるようになるにはどうすればよいか  
母への子ブローチが知りたかった  
かわりのヒントがほしい

**終了時刻** 10時40分

**事例報告** 10時05分

・Kは小学1年生  
・母とどうかわるとよいか  
・他児とのトラブル  
・習い事多  
・母…本人への期待高い  
・他の保護者から心配の声  
・母 忙しそう、じっくり話したい  
・経済的なことを心配 母子家庭  
・トラブルがあることも心配  
・学校と家庭との態度差  
・祖父母からの母へのプレッシャー

**質問・リソース探し** 10時20分

・担任と本人のかかわりは?  
→よい  
・家族構成は?  
→忙しい、祖父母からのプレッシャー  
・母が気にされていることは?  
→動物好き、優しい、人なつこく  
・本人の良いところ  
→家のことを話さずか? 好かれる  
→母から家で言われていることを話す  
・頑張っていることは?  
→習いごと スポ小野球  
・学習面は心配 気持ちが向かない  
・母の信頼できる人 → 民生委員に相談も  
祖父母と母のかかわり → 頼りにしている

**解決の対応策** 10時35分

- スポ小での頑張りの共有の場を作る
- ・ 母が気が休まることを提案
- ・ 祖父母にも授業を見てもらう
- (こ) をどう思ってるかきく
- ・ SCと母の時間を作る
- 民生委員の方に話を聞いてみる
- ・ クラスのメダカ係になり活やくの場面を作る
- 母と互いのことを知り合えるような面談をする。
- ・ 地域のことを母に教えてもらう

**決定** (赤丸で囲む)

**感想**

WRBの1/3を目安にすると整理しやすい

目指すケース会

★事例提供者と参加者**みんな**が「解決志向」「短いやりとり」で

事例提供者だけに責任を負わず会議にアイデアを吹き込んで

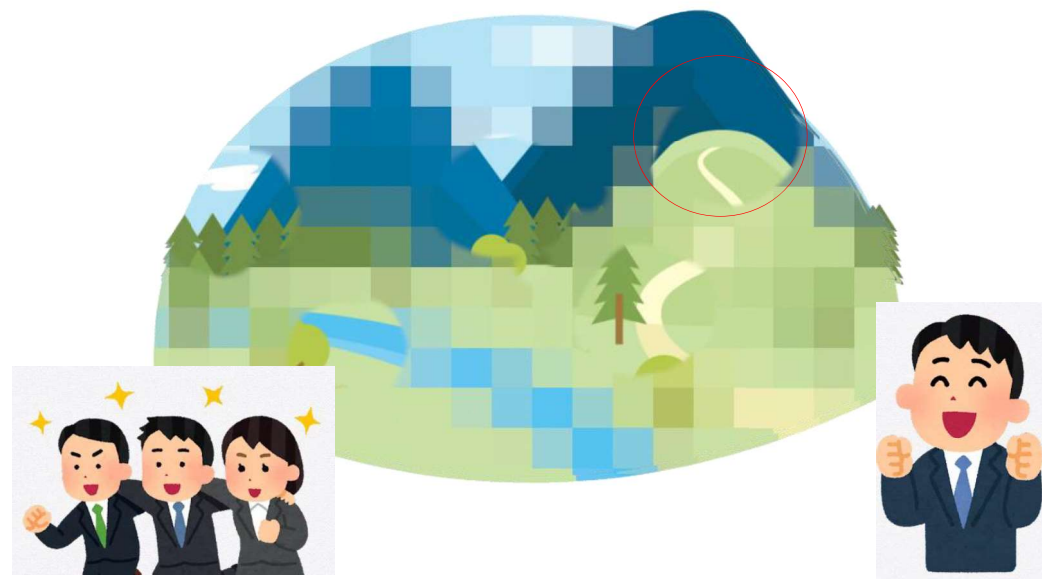
★「**会議後のゴールを明確に**」

事例提供者の困り感が明確である方がより具体的なアイデアが出しやすい

★「**みんなに発言機会がある**」

参加者が平等な回数発言できるよう、順番で。(パワーバランスなく)

★「**事例提供者**」が前に進む**小さなヒント**が得られるように



さあ！  
「次へのヒントが  
見つかるケース会議」  
やってみませんか！



- ・「解決志向ブリーフセラピー」  
《森俊夫、黒沢幸子「ほんの森出版」》
- ・ワークシートでブリーフセラピー  
《黒沢幸子「ほんの森出版」》
- ・解決志向で子どもとかわる  
《ジュディス・ミルナー、ジャッキー・ベイトマン  
「金剛出版」》
- ・30分でスッキリ!ブリーフミーティング  
《鹿嶋真弓・石黒康夫「図書文化」》
- ・30分でスッキリ!ブリーフミーティングの理論と実践  
《鹿嶋真弓・吉本恭子》